

## ANAHD、「ANA エアラインスクール」、AIDO・ソラシドから客室乗務員推薦指定校へ

ANA ホールディングは 21 日、ANA ビジネスソリューションが開設した「ANA エアラインスクール」が、AIDO とソラシドエアから客室乗務員採用推薦校の指定を受けたと発表した。

採用推薦校の指定を受けたことで、受講生が AIDO とソラシドエアの採用試験を受ける場合は書類選考で優遇されるが、採用を確約するものではない。

ANA エアラインスクールは、ANA の現役キャビンアテンダントが講師を務め、2013 年 10 月より「キャビンアテンダントコース」を開講した。同コースは、大学、短大などに通いながら受講していただけるダブルスクール形式で、ベーシックコースとアドバンスコースが用意されており、客室乗務員を目指す学生のサポートをおこなう。

(ANAHD プレスリリース)11/21

<http://www.anahd.co.jp/pr/201311/20131121.html>

(Aviationwire)11/21

<http://www.aviationwire.jp/archives/28867>

## スカイマーク、エアバスと FHS 構成部品契約締結

(レスポンスによると)

スカイマークは、2014 年よりリースを受ける 10 機の『A330』のサポートを補助するため、エアバスとフライト・アワー・サービスズ(FHS)構成部品契約にサインしたことを発表した。

この長期契約では、エアバスの顧客サービスは 700 ライン以上の交換可能なユニット(LRUs)の提供が保証されている。

この契約は共同管理アクセスサービスや主要なベースと選択された主張所での現地ストック、構成部品のメンテナンスサービスを含んでいる。現地エアバス FHS チームは、毎日の A330 の運航において最も高いサービスのレベルを確保する為に、毎日のスペア管理によってスカイマークを補助する。

(レスポンス)11/21

<http://response.jp/article/2013/11/21/211284.html>

## 関空、10月運営概況、国際線、日本人旅客数7カ月ぶりに増加

新関西国際空港会社が21日発表した10月の運営概況(速報値)によると、関西国際空港の国際線の日本人旅客数は、前年同月比1%増の56万5320人となり、7カ月ぶりに前年実績を上回った。中国方面の旅行が順調に回復していることが主な要因。

国際線の訪日外客数は、同35%増の40万4820人と10月として過去最高となった。台湾や東南アジアが大きく伸び、今年4、7、8月に続き、過去4番目の多さだった。

また、好調な国内線を合わせた全体の旅客数は12%増の152万1726人となり、25カ月連続で前年を上回った。

(毎日新聞)11/21

<http://mainichi.jp/select/news/20131122k0000m020034000c.html>

(新関空株) プレスリリース)11/21

<http://www.nkiac.co.jp/news/2013/1847/gaikyo10gatu.pdf>

\* 出典:新関空株

### 【関西国際空港】

◆ 1日平均

◆ 月合計

区 分	2012年10月	2013年9月	2013年10月	区 分	2013年10月
	1日平均 (10/1～31)	1日平均 (9/1～30) [速報値]	1日平均(前年比) (10/1～31) [速報値]		月合計(前年比) (10/1～31) [速報値]
乗入便数(便)	173.5	185.0	182.9 (105)	発着回数(回)	11,339 (105)
国際線	112.7	118.3	116.3 (103)	国際線	7,211 (103)
旅客便	92.8	98.0	96.1 (103)	旅客便	5,956 (103)
貨物便	18.2	18.2	18.6 (102)	貨物便	1,154 (102)
その他	1.7	2.0	1.6 (97)	その他	101 (97)
国内線	60.8	66.7	66.6 (110)	国内線	4,128 (110)
旅客便	56.9	61.8	61.9 (109)	旅客便	3,838 (109)
貨物便	1.5	1.9	1.9 (124)	貨物便	115 (124)
その他	2.4	3.1	2.8 (118)	その他	175 (118)
航空旅客数(千人)	43.7	52.0	49.1 (112)	航空旅客数(人)	1,521,726 (112)
国際線	28.7	33.5	32.0 (112)	国際線	991,858 (112)
日本人旅客	18.0	20.4	18.2 (101)	日本人旅客	565,320 (101)
外国人旅客	9.7	12.2	13.1 (135)	外国人旅客	404,820 (135)
通過旅客	1.0	0.9	0.7 (73)	通過旅客	21,718 (73)
国内線	15.1	18.5	17.1 (113)	国内線	529,868 (113)

## セントレア、新荷物自動預け機実験、全日空国内線全便対象

中部国際空港会社は11月19日から12月18日まで、デンソーコミュニケーションズ、全日空、埼玉大学と共同で、手荷物自動預け機と電子タグ(RFIDタグ)などを活用した「空港における待ち時間解消のための革新的旅客・手荷物システムの実証実験」開始した。

乗客が自分で荷物に電子タグを付け、電子タグで手荷物を管理するため、乗客が荷物を預けた後に急に搭乗をやめた場合、すぐに荷物を降ろせるなどの利点があるという。

実験では、搭乗客が出発ゲートに現れないこと(いわゆるノーショー)による人為的な航空機出発遅延の待ち時間を解消するため、①電子タグによる手荷物セルフ・チェックイン機、②搭乗客の空港内位置情報把握・情報配信システム、③未搭乗搭乗客の手荷物を5分以内に積み卸しを可能とする手荷物受付・検索システムーなどの効果を検証する。

(日刊航空)11/15

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-1115-03.pdf>

(日経)11/22

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFD2101X\\_R21C13A1CN8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFD2101X_R21C13A1CN8000/)

## 新千歳空港、10月航空概況、利用者数、前年比5.4%増、累計1800万人台到達予想

国土交通省新千歳空港事務所が20日にまとめた10月の航空概況では、乗降客数は前年比5.4%増の172万1201人。1～10月の累計は、7.1%増の1580万5932人となった。このペースが維持されれば、2007年以来6年ぶりに1800万人台に到達する見込みだ。

10月の国内線は4.3%増の161万9331人、国際線27.1%増の10万1870人。国内線は景気の高まり感も手伝い、前年を上回る実績。格安航空会社(LCC)の参入も需要掘り起こしにつながっているよう。国際線でも台湾線とバンコク線を中心に好調に伸びたことが、乗降客数の回復につながった。

(苫小牧民報)11/21

<http://www.tomamin.co.jp/2013117305>

(北海道新聞)11/21

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/505446.html>

## 中国、プライベートジェット、飛行許可手続き簡素化

中国は、12月1日からプライベートジェットやヘリコプターの飛行許可手続きを簡素化した。中国民用航空局(CAAC)と軍が共同で発表した新ルールによると、中国内の飛行禁止区域以外をプライベートジェットやヘリコプターで飛行する企業や個人は、CAACの許可を得るだけでよくなり、軍に飛行計画を提出する必要がなくなる。

2020年までに、中国の一般航空機の数には現在の1200機から1万機に増える見込まれている。

(ロイター)11/21

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0J621K20131121>

## エティハド航空、ドバイ・エアショー、199機の大量発注

エティハド航空は、ドバイ・エアショーで新機材を合計199機発注した。発注総額は670億米ドル。199機のうち、確定発注はエアバスが87機、ボーイングが56機で、オプションはエアバスが30機、ボーイングが26機の計56機。

トラベルビジョンによると、発注では新たな試みとして、EYが株式の一部を保有しているパートナー株式会社へ発注を譲渡できるように設定。EYによると、最も必要とする会社に機材を振り分けられるため、株式保有によるアライアンスパートナー間での機材の共有化と、機材やプロダクト統一によるコスト削減効果が見込まれているという。

(トラベルビジョン)11/21

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59651>